

寄付

アフラック沼津アソシエイツ様
東静岡ヤクルト販売株式会社様
ムジャキフーズ様
あいら伊豆農業協同組合様
株式会社 ABC 様
田邊元宣様 滝和子様



お寄せいただいた寄付金は子ども達のために使用させていただきます。どうもありがとうございました。

編集後記

新しい新施設への引越しで去年の今頃はドタバタの毎日であり、職員も子どもたちも試行錯誤しながら生活を送っていたと感じます。現在では各ユニットの特徴が出てきており、年齢に伴った環境の変化も見受けられ、一人ひとりが尊重された生活空間になっています。コロナ禍である為、窮屈な日々を送る事もありますが、全員が感染対策を意識しており、風邪をひく児童も少なく、毎日元気いっぱい生活しています。今年度も始まったばかりではありますが、よりよい1年になればと強く思います。

児童指導員 大高英也

連絡事項	
身長	cm
体重	kg

川奈臨海学園 基本理念

子どもの最善の利益のため、子どもたち一人ひとりが尊重され、心身ともに健やかに育成され、将来健全な社会の一員として自立できるよう支援を行う

お知らせ

帰省期間

5月3日～5月5日

6月17日～6月19日

7月23日～8月15日



帰省については児童相談所の許可のもと、各御家庭へ連絡しておりますので、宜しくお願い致します。尚、予定されている帰省期間は、新型コロナウイルスの状況に応じて変更する可能性がありますので、ご承知おきください。

交流

カットボランティア 野口伏見様
伊石裕司様
学習ボランティア 紀藤信哉様



※現在新型コロナウイルス感染状況拡大により、一部のボランティア活動を制限しております。社会情勢により活動の再開を検討していきたいと考えております

令和4年度 学園だより 春

子どもたちは未来に向かって

施設長 竹居昭子

川奈港からの海風が心地よく、花々が咲き新緑がまぶしく美しい季節です。

旧施設の解体も終了し、跡地は広ーい空き地となりました。関係各機関の皆様にお世話になりましたこと御礼申し上げます。職員一人ひとりが川奈臨海学園を支え、川奈臨海学園の基本理念を受けて各職員は業務を全うしています。

新人職員の入職もあり、各部署各職員各専門職員からこれからの仕事に向けての新任研修がなされています。私も概要コンプライアンスについて、接遇マナーと仕事をやる上で取り組むべきこと等を伝えました。人材育成は、コミュニケーションを図り受け止め認め、職員が孤立しないよう報告連絡相談がしやすくチーム力も養える

さくらら 咲く

2022年3月、ソメイヨシノよりも少し早く、川奈臨海学園の中学3年生に立派な桜が咲きました。

4人の受験生、新しい学園での生活に喜ぶのもつかの間、慌ただしく始まった受験の年は、彼らにとっても私たちにとっても初めての経験ばかりでした。市内の高校は統合を控え倍率の予想も出来ず、さらには感染症の流行状況により試験形態にも見通しが立たないような状態。変革の最中にある世間に困惑しながらも、子どもたちは現実を受け入れ、決して投げやりになることなく受験に臨みました。

思うように成績が伸びずギリギリまで志望校の決定に悩んだ児童もいました。まだ幼さの残る彼らにとって自分の将来を見据えた大きな決断をすることはとても不安だったと思います。それでも決断し、定期テストに一喜一憂しながら努力する彼らの姿は慌ただしく始まった

よう取り組んでいます。

そしてこの4月には小学校3人と中学校6人と高等学校3人の新入学生が新しい学校での生活を始めました。ピカピカのランドセル、真っ白なラインのセーラー服、キリリとした学生服、大人を感じさせる高校のブレザー制服と節目を迎えた子どもたちは未来に向かって、自身の目標を決め、1歩1歩前進してくれると信じています。子どもたちが笑顔で日々過ごすことができるよう見守っていきたくと思います。

川奈臨海学園を支えてくださる全ての皆様のご縁と保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様のお力添えをいただきたく、今後ともよろしくお願い致します。

年度当初とは少し変わっていました。

努力が花開いた日、喜びと安堵から涙を流す児童も、職員からの祝福の言葉に少し照れながらすまして答える児童もいました。

満開の桜に囲まれて、大人びた姿の中にわずかな幼さをしまい込んで、彼らの新しい生活が始まります。

がんばれ！高校生！



保育士 後藤 圭介



新任職員紹介

学生時代に川奈臨海学園を見学したことがあり、いつか児童養護施設での仕事に携わりたいと思っており、この度保育士として採用して頂きました。今までは他の職種に携わっており児童養護施設での仕事の経験はありませんが、これまでの自分の子育ての経験を生かして子どもたちの支援を行っていきたいと思っています。新卒のフレッシュさに負けないう元気いっぱい頑張っていきますので、宜しくお願い致します。

保育士 菅原波留美

実習や授業の中で児童養護施設に興味を持ち、施設に入所する子どもたちへ支援がしたいと思うようになり、この度保育士として採用して頂きました。子どもの変化にすぐ気が付き、子どもに寄り添っていけるような保育士を目指したいと思っています。不慣れな事ばかりだと思いますが、長所である笑顔を生かして、日々成長できるように頑張ります。よろしくお願い致します。

保育士 土屋菜織

この春入社する前の学生の時に、児童養護施設で実習をする機会があり、座学だけでは学ぶことのできない、現場の様子を学ぶことができました。そこで、日々子どもと関わりを持ちつつ、信頼関係を深めていく様子を、児童養護施設の良さを見つけることができました。この経験がきっかけとなり、地元にある子どもの施設について調べてみたところ、ここが児童養護施設であると分かりました。そのため、実習でえた学びを活かしつつ、地元で貢献できるところに魅力を感じ、こちらに就職いたしました。まだまだ未熟ではありますが、日々成長できるように頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

昨年度の 10 月下旬から務めさせていただいており、この度川奈臨海学園の新任職員となりました。社会人としてまだまだ未熟ではありますが、川奈臨海学園の子どもたちと共に成長していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

児童指導員 上原玲也

川奈臨海学園で昨年度実習をさせて頂いた事をきっかけに今年度保育士として採用して頂きました。児童養護施設の職員として子どもたちと触れ合い、他職員とも連携を取り合い自立に向け支援を行いたいと考えておりますので、これからもよろしくお願い致します。

保育士 上野麗奈

わかなでのお出かけ

コロナ渦でなかなかイベントを開催する事ができず、そのような中でも富士サファリパークなら感染リスクが低いのではと計画を立てました。しかし直前に感染状況が拡大してしまい、ふれあいゾーンでの見学やお土産を買うことなく、車内での見学のみで出かけることになってしまいました。子ども達にとっては楽しみが半減してしまいましたが、いざ現地に車でサファリゾーンに入ると間近に動物をみることができ、予想以上に興奮し楽しむことができました。昼食は近くの公園で食べましたが、久しぶりの外出を楽しんでいる子ども達の笑顔をみることができました。

保育士 菅原波留美



動物とのふれあい

低学年ユニットではアニマルキングダムに行きました。動物コーナーに足を踏み入れるや否や、「エサをあげたい！」とテンションが上がる子どもたち。エサを与えた動物たちを、愛おしそうに眺めていました。

しばらく歩いているとサルの群れが居ました。そこでは子ザルが2匹、いじめられていたのです。その後飼育員さんに、群れに入ろうと2匹とも頑張っている事を聞いた子どもたちは、応援し始めます。動物へ感情移入ができ、愛情を与えている子どもたちを見て、これからも愛情豊かに育てて欲しいと感じました。



保育士 長橋洸太

イルミネーションが見たい！

子どもたちと一緒に、とある場所へ夜のお出かけをしました。車に揺られ、着いた場所は伊豆ぐらんぱる公園です。イルミネーションを見に行きました。入園するとすぐ、一面にキラキラの世界が広がっていて「すごーい！」と、皆うっとり。経路の途中には動物のふれあいコーナーがあり、モルモットを撫でたり、サルを眺めたりし、イルミネーションを見た後は、射的をしたりゴーカートに乗ったりと思い思いに楽しみました。最後に、お土産のガチャガチャをして帰って来ました。「楽しかった」と喜んでいる姿を見ることができて嬉しかったです。コロナが落ち着いたらもっと色々な所へ行こうね！

保育士 綿貫こころ



ドーナツづくり

春休み、子どもたちが施設内で過ごす時間が増え、何か手軽で楽しいことをしたいと思い、幼児ユニットでは「ドーナツ作り」をしました。

前回のクッキー作りが好評だったため、今回もみんな大喜び。一人ずつに小さなボウルを用意し、材料を混ぜ合わせていきます。最初は「手にくっついちゃったよ～」と感触に戸惑っていた子も、職員が手伝いながら形成をしていくうちに、粘土遊びのように楽しんでいました。揚げる場面では、油に入れると膨らむ生地に子どもたちは興味津々です。最後にトッピングをして完成しました。

簡単な工程ですが、粉や生地の感触、揚げる時の音、出来たての甘い匂いなど、五感を通して楽しめるお菓子作り。また出来たらと思います。

保育士 山田琴音